

工事設計書

				課長		課長補佐		主任・係長		審査者		検算		設計者
--	--	--	--	----	--	------	--	-------	--	-----	--	----	--	-----

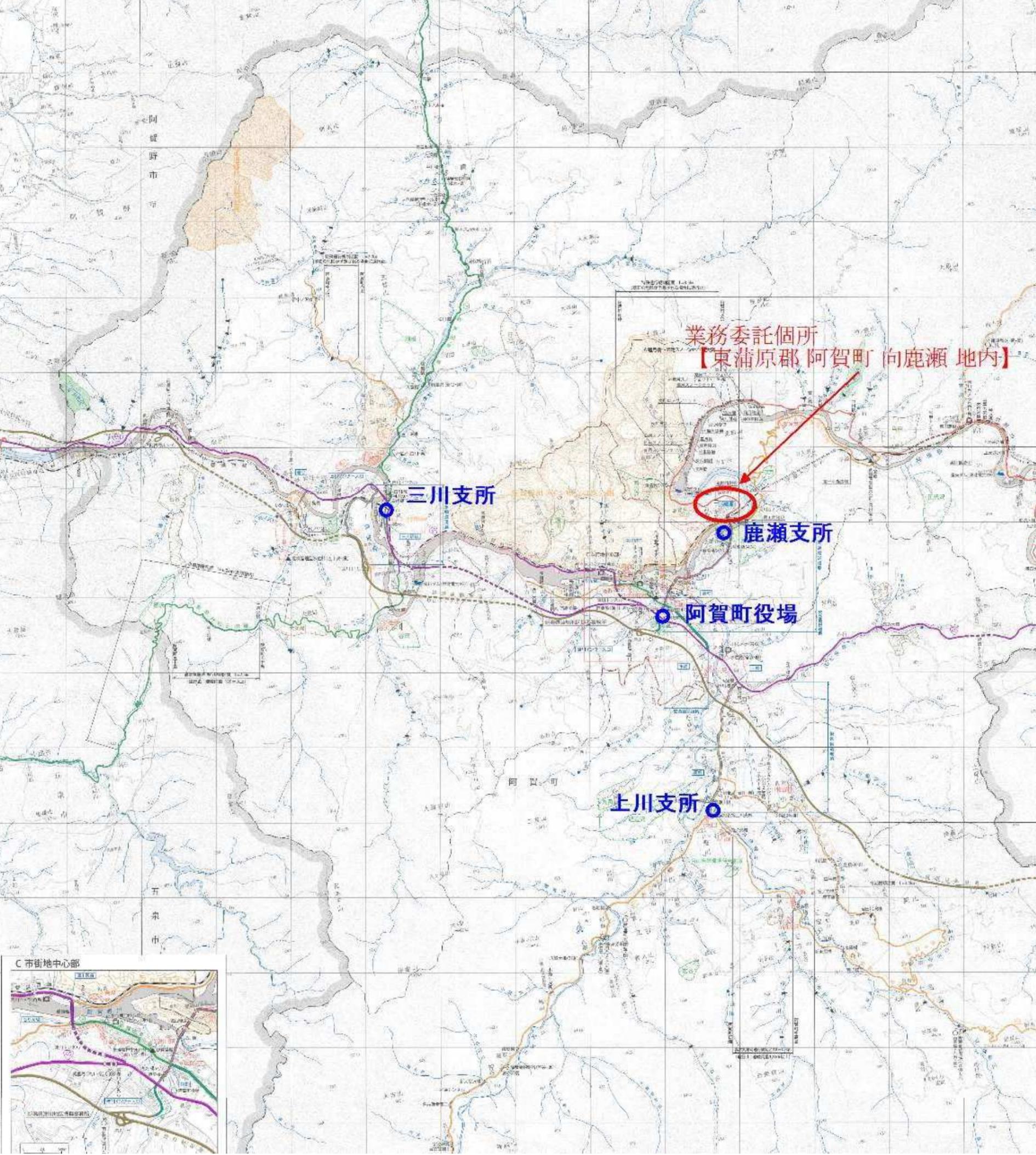
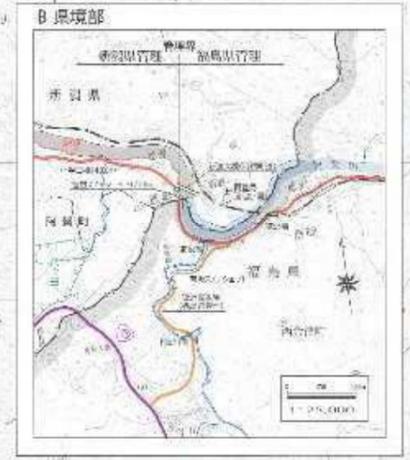
工事名称 向鹿瀬水道施設 洗管計画策定業務委託		工事番号 R7 向鹿瀬簡水委第1号	
工事費総額		¥ ██████████	
(内訳) 工事価格		¥ ██████████ -	
消費税		¥ ██████████ -	
発注者名 阿賀町水道事業管理者 阿賀町長 神田 一秋 工期 90 工事場所 阿賀町 向鹿瀬 地内 (向鹿瀬区) 場所名称 阿賀町 向鹿瀬 地内 (向鹿瀬区)	工事種類: 水道施設維持管理業務委託 工種区分: 管路等維持管理業務		
工事概要 当初設計 ◎向鹿瀬給水区域洗管計画策定業務 ・作業計画 1式 ・水圧測定 6カ所 (下見兼設置・撤去) ・管網解析モデル構築 1式 ・内視鏡カメラ調査 2カ所 ・仕切弁開閉状況調査 1式 ・洗管計画概要作成 1式 ・報告書作成 1式	変更設計		

契約情報総括表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)
積算段階	A 積算工事価格	■			
	B 消費税相当額	■			
	C 積算額	■			
契約段階	D 工事価格	0			
	E 消費税相当額	0			
	F 契約額	0			
	G 増減				
請負比率	0	$B=A \times 0.1$ $C=A+B$ $D=A$ に対する応札額 $E=D \times 0.1$ $F=D+E$	$B1=A1 \times 0.1$ $C1=A1+B1$ $D1=A1$ に対する応札額 $E1=D1 \times 0.1$ $F1=D1+E1$	$B2=A2 \times 0.1$ $C2=A2+B2$ $D2=A2$ に対する応札額 $E2=D2 \times 0.1$ $F2=D2+E2$	$B3=A3 \times 0.1$ $C3=A3+B3$ $D3=A3$ に対する応札額 $E3=D3 \times 0.1$ $F3=D3+E3$
注)			D 1 算出	D 2 算出	D 3 算出
積算工事価格：落札率を乗じず、消費税等相当額を含まない額。 積算額：積算工事価格に消費税相当額を加算した額。 工事価格：応札額、または積算工事価格に落札率を乗じた額で、消費税相当額を含まない。 契約額：工事価格に消費税等相当額を加算した額。			= $A1 \times H$ = × 0 =	= $A2 \times H$ = × 0 =	= $A3 \times H$ = × 0 =

令和五年 1月印刷

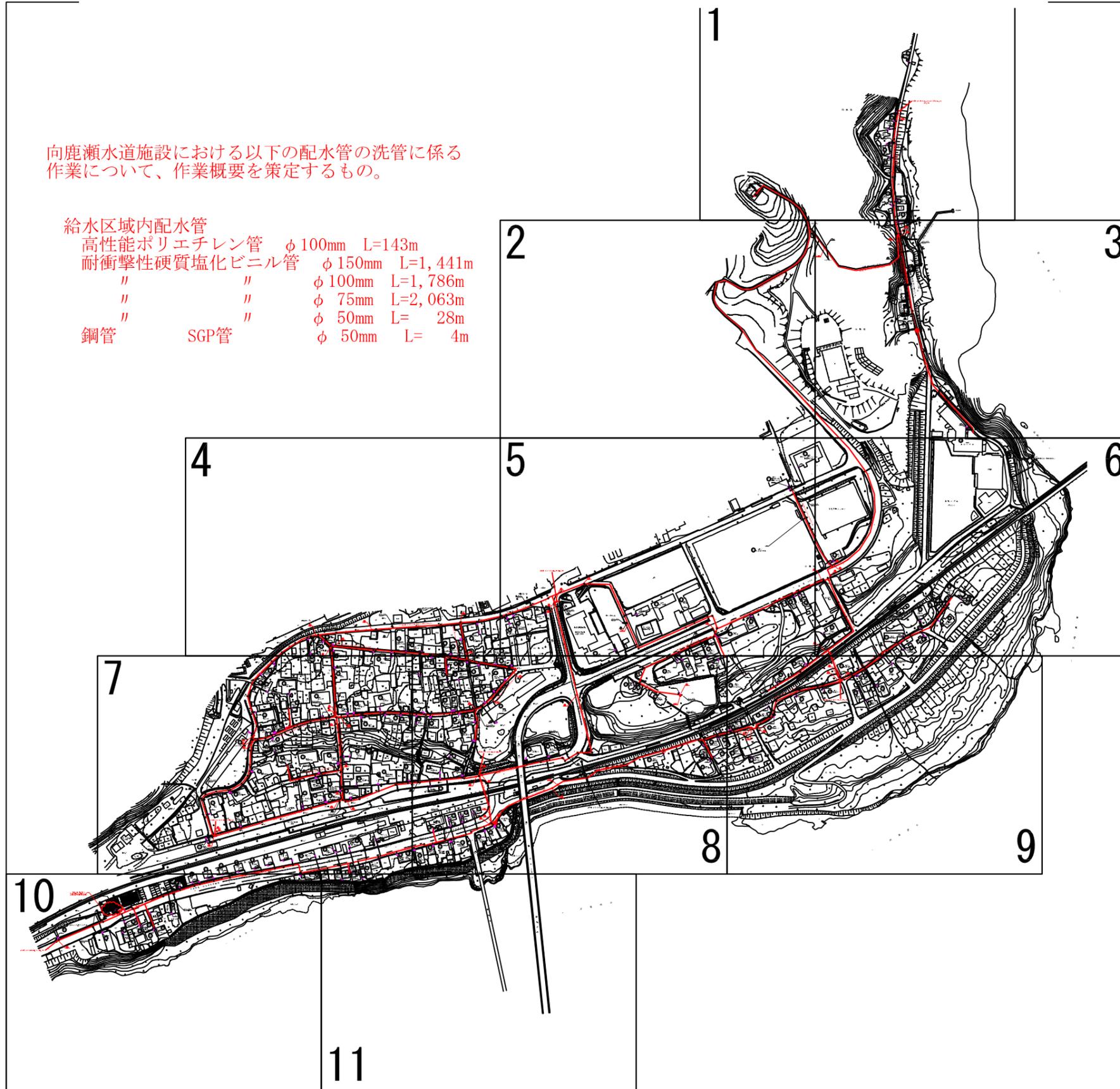
業務委託の位置図



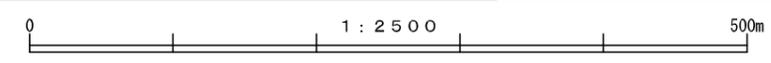
【 業 務 内 容 の 説 明 図 】

向鹿瀬水道施設における以下の配水管の洗管に係る作業について、作業概要を策定するもの。

- 給水区域内配水管
- 高性能ポリエチレン管 φ100mm L=143m
 - 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 φ150mm L=1,441m
 - 〃 〃 φ100mm L=1,786m
 - 〃 〃 φ75mm L=2,063m
 - 〃 〃 φ50mm L=28m
 - 鋼管 SGP管 φ50mm L=4m



凡 例	
圧力区分	
---	導水管
---	送水管
---	排泥管
---	配水管
---	給水管
---	給水管 VPφ13~20
---	消火栓
---	不明管
---	排水管
---	通気管
管 種	
CIP	鉄 管
DIP	ダクタイル鉄管
ACP	石棉セメント管
VPW	硬質塩化ビニル管
VPW-RR	ゴム輪形硬質塩化ビニル管
HIVPW	HI硬質塩化ビニル管
HIVPW-RR	HIゴム輪形硬質塩化ビニル管
PE	ポリエチレン管
VLGP	ライニング鋼管
NCP	ナイロンコーティング鋼管
PPLP	保温防食鋼管
SGPVB	ライニング鋼管(外:重鉛めっき)
SGPVD	ライニング鋼管(外:硬質塩化ビニル)
付 属 施 設	
+	仕切井
○	消火栓(地下式開口)
○	消火栓(地上式開口)
○	消火栓(地上式現口)
+	排泥井
+	逆止井
+	空 気 弁
+	保 護 管
+	伏 越 管
+	口 径 変 更
+	管 の 交 差
+	ホ ン プ
+	防 火 水 槽
+	管 種・規格年度変更
+	検 止 め
+	メ ー タ ー
+	乙 止 水 栓
+	甲 止 水 栓
+	変 水 槽



向鹿瀬水道施設 管洗管計画策定業務委託 仕様書

第1章 総則

第1条 適用範囲

本仕様書は、「向鹿瀬区配水管洗管計画策定業務」（以下「本業務」という。）に適用され、阿賀町（以下「甲」という。）と受注者（以下「乙」という。）が履行しなければならない事項を定める。

第2条 目的

本業務委託は、向鹿瀬区全域において発生する濁水問題解決に必要な配水管の洗浄計画を策定し、効果的な洗管作業を安全に実施することを目的とする。

第3条 業務期間

契約締結日翌日 から 令和8年3月19日 まで

第4条 業務概念

本業務を遂行するにあたっては、甲の意図及び目的を十分理解したうえで、相当の経験を有する技術者を定め、計画的に作業計画を定め、かつ適切な人員を配置し、細心の注意を払い正確・丁寧にこれを行わなければならない。

第5条 法令等の遵守

乙は、本業務を実施するにあたっては、関連する法令等を遵守しなければならない。

第6条 守秘義務

乙は、本業務の実施過程で知り得た情報や結果を、第三者に漏らしてはならない。また、契約期間満了後も同様とする。

第7条 資料提示

甲は、乙に対し業務に必要な管路図及び資料類等の関係資料を貸与するものとする。また、提示された関係資料類の取扱いには十分注意し、業務完了時には延滞なく甲に返却するものとする。

第8条 業務指示及び監督

乙は、業務を実施するにあたり、甲が定める担当職員と常に密接に連絡をとり、その指示及び監督を受けなければならない。

第9条 資格要件

本業務は、管網解析システムを使用し現況分析を行う事で、安全かつ効果的に業務が遂行されなくてはならない。そのため、乙は国内水道事業者から洗管計画策定業務の実績を有すること。

また、管網解析業務、配水管洗浄計画策定に対して豊富な知識を有する管理技術者及び業務主任技術者を選出し、次の何れかの資格を有した者でなくてはならない。

(1) 管理技術者

公益社団法人日本技術士会 技術士（総合技術監理部門/上下水道—上水道及び工業用水道）または（上下水道部門/上水道及び工業用水道）かつ公益社団法人日本測量協会 測量士の資格を有する者。

(2) 業務主任技術者

公益社団法人日本技術士会 技術士補（上下水道部門）以上、または公益社団法人日本水道協会 水道施設管理技士（管路）2級以上の資格を有する者。

(3) 管理技術者と業務主任技術者は兼務できない。

(4) 契約書提出時に各技術者選任通知書及び、雇用証明書（保険証の写し等）を甲に提出し、承認を得ること。

(5) 他社在籍出向者および派遣社員等を配置することは認めない。

第10条 安全管理、事故防止及び損害賠償

乙は、業務実施にあたって、交通の妨害にならないように注意し、事故を未然に防止するよう協力するとともに、労働基準法等関連法規を守り、円滑にこれを行わなければならない。

本業務において、事故が発生した場合、乙は適宜適切な処置をとり、すみやかにその旨を甲に報告しなければならない。

第11条 品質管理

乙は、本業務における品質方針及び品質目標を明確にし、業務手順を文書化して記録を適切に維持管理すること。業務遂行中に不適合が発生した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

第12条 個人情報の取り扱い

乙は、個人情報の保護に関する法令等を遵守し、業務で扱う個人情報の保護についての義務を負うものとする。よって、貸与資料や各種データの保管、管理を行うなかで、情報の漏洩があってはならない。

第13条 身分証明等の携帯

乙は、現地調査にあたって身分証明書を常時携帯し、腕章を付け、請負社名入りの作業服

を着用し、正確丁寧に業務を実施するものとする。

第14条 宅内調査

調査のため宅地内等に立ち入るときは、その目的を告げ了解を得て立ち入ること。

疑わしき行動はさけ、地域住民と協調を保ち、いたずらに摩擦を起こさぬよう十分心がけること。

関係住民の苦情処理は、乙が責任をもって解決するものとする。

第15条 疑義

本仕様書、契約書に定めのない事項及び、業務中における疑義が生じた場合は、甲乙が協議の上、解決するものとする。

第16条 提出書類

本業務の契約及び完了にあたっては、甲が定めるもののほか、次の書類を提出し甲の承認を受けなければならない。

- (1) 着手届
- (2) 実施計画書
- (3) 実施工程表
- (4) 管理技術者届及び業務経歴書、保有資格者証、雇用証明書（保険証の写し等）
- (5) 業務主任技術者届及び業務経歴書、保有資格者証、雇用証明書（保険証の写し等）
- (6) 完了届

第17条 再委託等の禁止

本業務の全部又は一部を第三者に再委託してはならない。

第2章 業務内容

第18条 実施数量

実施数量は以下のとおりとする。

○向鹿瀬区配水管	φ150mm～φ50mm	L=5,464m
(1) 作業計画		1式
(2) 水圧測定		6箇所
(3) 管網解析モデル作成		1式
(4) 管内カメラ調査		2箇所
(5) 仕切弁開度調査		1式
(6) 洗管計画概要作成		1式
(7) 報告書作成		1式

第19条 貸与資料

業務遂行にあたっては、甲から以下の資料を貸与する。

- (1) 既存管路情報システムデータ
- (2) 竣工図ファイリングデータ
- (3) 水道料金システムデータ (CSV形式)
- (4) 各施設配水量データ
- (5) その他必要なデータ等

第20条 実施内容

- (1) 作業計画 (資料収集整理含む)

乙は、本業務の実施に先立ち、実施計画の立案、資料の収集、工程管理、人員体制等の計画を行うものとする。

また、濁水履歴 (苦情情報)、水質検査情報、管路施設情報 (配水管路図、管路属性、仕切弁属性等)、給水情報 (人口、料金使用水量、大口使用者等)、配水情報 (配水圧、配水量等) の資料を収集し整理を行うこと。

- (2) 水圧測定

乙は、管網の現況把握及び後述の管網解析結果の検証を目的として、水圧測定を実施するものとする。なお、測定結果は管網図と実管網の整合性の確認、バルブ開閉状態の検証および消火栓等からの放水量把握のための基礎資料として活用するものとする。

- (3) 管網解析モデル作成

甲が貸与する既存の管路情報データを、乙が用意する管網解析システムへ取り込

みし、配水管、弁栓、給水装置、配水池等施設情報及び、管路施設、給水施設属性情報を設定すること。

また、関連する配水管、給水管、メータ等の接続状況を確認し、未接続箇所は全て接続すること。

甲の水道料金システムから必要な情報を取得し、乙が用意する管網解析システムの給水装置情報と関連付けること。

国土地理院から提供されている基盤地図情報から、管網解析に必要となるデータを取得し、取り込みすること。

甲より貸与された配水量・配水圧データを用いて管網解析モデルを作成し、それが正しく計算されているかを検証すること。

既存の管路情報システムから出力されたデータを活用し、配水管や給水管、メータ等を簡略化せず施設実態を忠実に再現させること。

(4) 管内カメラ調査

濁水発生の原因の追究を目的として管内カメラ調査を実施するものとする。調査箇所は目的達成に有効な位置を乙が選定する。選定地点にカメラ挿入に必要な空気弁等がない場合は、甲が選定地点にサドル付き分水栓を設置する。乙は選定地点から断水で内視鏡カメラを挿入し確認・記録を行うこと。なお、調査結果は管内を含む施設状況把握のための基礎資料として活用するものとする。

(5) 仕切弁開度調査

計画通りの洗管流量を確保し、予期せぬ断水区間や濁水発生を防止するために洗管実施区画内仕切弁の開閉調査を行うものとする。

仕切弁操作に伴う濁水発生の可能性を考慮し、慎重に操作すること。

調査方法としては、閉止方向に1～1.5回転ほど回し、仕切弁が止まった場合は全閉と判断する。仕切弁が止まらずに回転する場合は回転を最初の状態に戻し、開け方向に1～1.5回転ほど回し、止まった場合は全開と判断する。仕切弁開度は確認後、元の状態に戻す。

上記の作業を実施して判断がつかないものは半開、また上記の作業を実施不可能なものは開度不明とし甲に報告すること。

(6) 洗管計画概要作成

乙は、濁水が発生する原因の確認と施設状況の把握をしたうえで、原因に対して効果が見込めて、安全に実施できる洗管の基本方策を検討することで、目的達成の道筋を立てる。

計画策定にあたって、以下の検討内容項目を示す。

- (i) 洗管対象
- (ii) 洗管方法
- (iii) 洗管順番
- (iv) 遂行計画

(7) 報告書作成

乙は、実施結果をまとめ現況報告を行うとともに、今後の対策案を検討し報告を行うものとする。

第 3 章 成果品

第 2 1 条 成果品提出

成果品類は以下のとおりとする。

- (1) 業務報告書 1 式
- (2) 作業日報 1 式
- (3) その他必要とするもの

第 2 2 条 成果品検査

乙は、業務完了時に甲の検査を受けなければならない。

また、検査において訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。

第 2 3 条 報告会実施

乙は、業務報告書提出後、報告会を行うものとする。

報告会においては、業務の報告にとどまらず、今後の維持管理等についても行うこと。

※ 諸経费率については以下の書籍を算定根拠としています。

水道施設維持管理等業務委託積算要領案
 ー管路等維持管理業務編ー

平成22年9月 社団法人 日本水道協会 参照

諸経費

[工事種類]]	水道施設維持管理業務委託	-----	
[工種区分]]	管路等維持管理業務	-----	
[経費年度]]	2017	-----	
[共通仮設費補正]]	-----	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[共通仮設費補正(被災地)]]	1	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[現場管理費補正(被災地)]]	1	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[現場管理費補正(工事場所)]]	-----	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[現場管理費補正(緊急工事)]]	-----	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[現場管理費補正(冬期)]]	-----	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[現場管理費補正(真夏日)]]	-----	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[一般管理費補正(前払金支出割合)]]	1	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[一般管理費補正(契約保証)]]	-----	-----	補正しない，小数第4位止め，四捨五入
[直接工事費]]	██████████	-----	自動計算，整数1位(1円)止め，切り捨て
[共通仮設费率額]]	██████████	-----	自動計算，整数4位(1千円)止め，切り捨て
[共通仮設費対象額]]	██████████	-----	自動計算，整数1位(1円)止め，切り捨て
[共通仮設费率]]	9.53%	-----	自動計算，小数第4位止め，四捨五入
[共通仮設費積上額]]	-----	-----	自動計算，整数1位(1円)止め，切り捨て，(//【共通仮設費積上額】に積み上げてください。)
[純工事費]]	██████████	-----	自動計算，整数1位(1円)止め，切り捨て
[現場管理费率額]]	██████████	-----	自動計算，整数4位(1千円)止め，切り捨て
[現場管理費対象額]]	██████████	-----	自動計算，整数1位(1円)止め，切り捨て
[現場管理费率]]	38.97%	-----	自動計算，小数第4位止め，四捨五入
[現場管理費積上額]]	-----	-----	自動計算，整数1位(1円)止め，切り捨て，(//【現場管理費積上額】に積み上げてください。)

諸経費

[工事原価]]	██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[一般管理费率額]]	██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[一般管理費対象額]]	██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[一般管理费率]]	14.38%	-----	自動計算, 小数第4位止め, 四捨五入
[契約保証費]]	-----	-----	一般管理費等に含まれる, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[一般管理費調整額]]	-██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[一般管理費等計]]	██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[その他工事費用 上額]に積み上げてください。)]	-----	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て, (//【その他工事費積
[消費税]]	██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[消費税率]]	10%	-----	自動計算, 小数第2位止め, 四捨五入
[工事費計]]	██████████	-----	自動計算, 整数1位(1円)止め, 切り捨て
[工事落札額]]	-----	-----	計算しない, (//発注者のみ使用)
[請負比率]]	-----	-----	計算しない
[落札額消費税]]	-----	-----	計算しない
[工事請負額]]	-----	-----	計算しない

総括情報表

事務所名 設計書区分/番号 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 設計書名	020 津川1 (15 新潟県) 2025-06-20		
	当世代	前世代	
前払率 工事種類 工種区分 施工地域・工事場所区分 現場環境改善費補正 一般管理費補正(契約保証) 緊急工事区分による補正 豪雪補正	補正なし 水道施設維持管理業務委託 管路等維持管理業務 補正なし 補正なし する ※ 当該業務委託の積算根拠等については、見積りによる他、以下の書籍から出典しています。 水道施設維持管理等業務委託積算要領案 ー管路等維持管理業務編ー 平成22年9月 社団法人 日本水道協会 参照		

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
*** 洗管計画策定業務 ***					
直接業務費	1	式			
作業計画 必要情報の収集・整理：施設把握：現地調査計画・準備	1	式			内訳第1号
水圧測定 下見兼設置・撤去	1	式			内訳第2号
管網解析モデル構築	1	式			内訳第3号
現地調査	1	式			内訳第4号
洗管計画概要作成	1	式			内訳第5号
報告書作成	1	式			内訳第6号

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
【 直接工事費計 】					
共通仮設費率額	1	式			*0.0953
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理費率額	1	式			*0.3897
【 現場管理費計 】					
【 工事原価 】					
一般管理費率額	1	式			*0.1438
【 調整前工事価格 】					

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
【 工事価格 】					調整額 = -
【 消費税等相当額 】					*0.1
【 工事費計 】					

施工内訳表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査主任技師 適用職種（測量主任技師）	2	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
【合計】	1	式			

水圧測定
下見兼設置・撤去

施工内訳表

内訳第2号

頁0008

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水圧測定	6	箇所			代価第1号
【合計】	1	式			

施工内訳表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査主任技師 適用職種（測量主任技師）	1	人			県土木 R7.06
調査技師 適用職種（測量技師）	2	人			県土木 R7.06
調査技師補 適用職種（測量技師補）	2	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
パソコン使用料	2	日	546		阿賀町上下水道課調査単価
管路診断支援ソフト使用料	2	日	3,280		阿賀町上下水道課調査単価
諸雑費 上記金額の3%	1	式			
【合計】	1	式			

施工内訳表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
内視鏡カメラ調査	2	個所			代価第2号
仕切弁開閉状況調査	1	式			代価第3号
【合計】	1	式			

施工内訳表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査主任技師 適用職種（測量主任技師）	2	人			県土木 R7.06
調査技師 適用職種（測量技師）	2	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
パソコン使用料	6	日	546		阿賀町上下水道課調査単価
管路診断支援ソフト使用料	6	日	3,280		阿賀町上下水道課調査単価
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
【合計】	1	式			

施工内訳表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査主任技師 適用職種（測量主任技師）	1	人			県土木 R7.06
調査技師 適用職種（測量技師）	2	人			県土木 R7.06
調査技師補 適用職種（測量技師補）	3	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
パソコン使用料	8	日	546		阿賀町上下水道課調査単価
プリンタ使用料	8	日	651		阿賀町上下水道課調査単価
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
【合計】	1	式			

施工代価表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

9 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査技師 適用職種（測量技師）	1	人			県土木 R7.06
調査技師補 適用職種（測量技師補）	1	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
水圧計損料	3	日	715		阿賀町上下水道課調査単価
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名排気量2.0L	3	供用日	2,610		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]（損料表9欄） 乗車定員5名排気量2.0L	4	h	287		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ガソリン レギュラー	10.4	l	159		県土木 R7.06
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
【 合計 】	9	箇所			

施工代価表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

9箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【単位当り】	1	箇所			

施工代価表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

10 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査技師 適用職種（測量技師）	1	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
交通誘導警備員B	2	人			県土木 R7.06
挿入型管内カメラ装置	2	日	121,331		阿賀町上下水道課調査単価
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名排気量2.0L	2	供用日	2,610		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] (損料表9欄) 乗車定員5名排気量2.0L	4	h	287		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ガソリン レギュラー	4	l	159		県土木 R7.06
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
【 合計 】	10	箇所			

施工代価表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

10 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

1式当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査技師 適用職種（測量技師）	2	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	2	人			県土木 R7.06
金属管探知器損料	2	日	1,224		阿賀町上下水道課調査単価
金属探知器損料	2	日	349		阿賀町上下水道課調査単価
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名排気量2.0L	2	供用日	2,610		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]（損料表9欄） 乗車定員5名排気量2.0L	4	h	287		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ガソリン レギュラー	8	l	159		県土木 R7.06
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
【合計】	1	式			

施工代価表

【阿賀町上下水道課調査歩掛】

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【 単位当り 】	1	式			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【労務費】					
交通誘導警備員B	0.4	人			県土木 R7.06
調査主任技師 適用職種（測量主任技師）	6	人			県土木 R7.06
調査助手 適用職種（測量助手）	11.733	人			県土木 R7.06
調査技師 適用職種（測量技師）	8.867	人			県土木 R7.06
調査技師補 適用職種（測量技師補）	5.667	人			県土木 R7.06
【損料・賃料】					
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名排気量2.0L	4.4	供用日	2,610		令和6年度版建設機械等損料表20-9
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] (損料表9欄) 乗車定員5名排気量2.0L	7.467	h	287		令和6年度版建設機械等損料表20-9

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【材料費】					
ガソリン レギュラー	15.733	l	159		県土木 R7.06
パソコン使用料	16	日	546		阿賀町上下水道課調査単価
プリンタ使用料	8	日	651		阿賀町上下水道課調査単価
挿入型管内カメラ装置	0.4	日	121,331		阿賀町上下水道課調査単価
水圧計損料	2	日	715		阿賀町上下水道課調査単価
管路診断支援ソフト使用料	8	日	3,280		阿賀町上下水道課調査単価
諸雑費 上記金額の3%	1	式			
諸雑費 上記金額の合計×3%	0.2	式			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
諸雑費 上記金額の合計×3%	1	式			
諸雑費 上記金額の合計×3%	0.667	式			
金属探知器損料	2	日	349		阿賀町上下水道課調査単価
金属管探知器損料	2	日	1,224		阿賀町上下水道課調査単価